

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|--|-------------------|--------------------------|
| 科目名 | 放射線撮影学1 (Basic Radiation Imaging) | | |
| ナンバリングコード | S20212 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 保健医療学科 / 標準レベル 診療放射線学 |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 1年 / 後期 |
| 必修・選択区分 | コース必修: 診療放射線学コース 選択: 臨床検査学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | S003351 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 村中 博幸、衛藤 路弘 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 基本的にスライドを用いた講義形式で行う。講義中に課題を提示し、各授業毎に確認テストを行う。 教科書を基本とし、参考資料はGoogle Classroomにてpdfで提供します。 診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。 | | |
| 教科書 | 放射線技術学シリーズ X線撮影技術学(改訂3版)(小田 敏弘、土井司、オーム社、2020) | | |
| 参考文献及び指定図書 | 診療放射線技術 改訂第14版 上巻(土井司、南江堂、2019)、クラークX線撮影技術学(AS.ホワイトリー、西村書店、2009)、骨・関節X線写真の撮りかたと見かた 第8版第3刷(堀尾重治、医学書院、2013)、放射線技術学シリーズ 標準救急撮影法(坂下恵治、オーム社、2011) | | |
| 関連科目 | | | |

| 到達目標の観点 | 到達目標 | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|---------------|---|-------------------|-------------------|------------------|
| | | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【ディプロマ・ポリシー1】 | | | | |
| 【ディプロマ・ポリシー2】 | 幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。 | 100点 | | |
| 【ディプロマ・ポリシー3】 | | | | |
| 【ディプロマ・ポリシー4】 | | | | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) |
|--|
| 授業毎にGoogle Classroomで小テストを行います。このテストは成績には反映しませんが、授業の重要ポイントの復習となります。小テストの解説を授業後に行い、フィードバックをします。これらは期末試験の範囲にも含まれますので、必ず取り組んで下さい。 |

| ○基本情報 | |
|------------------|--|
| 授業の目的 | 診療放射線技師の役割からX線単純撮影の撮影目的、投影理論、体位と中心線等について学習し、撮影における画像解剖とポジショニングの関係、画像評価について学習することを目標とする。診療放射線技師の基礎である一般撮影領域の撮影の原理、ポジショニング、画像評価、画像解剖を覚え理解する。 具体的な目標 ①X線撮影の原理、画質評価を理解できる。 ②代表的な撮影法について、ポジショニングやX線入射点などについて理解できる。 ③疾患別に必要な特殊撮影法を理解できる。 ④解剖学的な構造を理解し、診断に適した画像が評価ができる |
| 授業の概要 | 診療放射線技師の基本業務である骨および胸腹部の単純X線撮影、および乳房撮影に必要な撮影技術を修得する。また、骨密度の検査の概要について理解する。撮影の際に、患者の安全・安心を第一に、負担が少なく、診断に適した画像を医師に提供するために、検査対象部位の解剖学的構造を理解し、X線画像からポジショニングの良否を判定できるようになる。 (オムニバス方式/全15回) (村中博幸/8回) X線撮影の基礎、胸部、腹部、乳房、骨盤・股関節、小児撮影、特殊撮影 (衛藤路弘/7回) 頭部・頸部、腹部、脊椎、上肢、下肢 |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「該当なし」 |
| 地域志向科目 | 該当しない |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 病院で勤務した診療放射線技師2名がこの授業を担当します。 |

| ○その他 |
|--|
| 放射線業務を行う上で、最も基礎的内容となるので、よく予習・復習を行い授業に臨むこと。 |

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 | 放射線撮影学1 (Basic Radiation Imaging) | 授業コード | S003351 |
|--|------|-----------------------------------|-------|---------|
| | 担当教員 | 村中 博幸、衛藤 路弘 | | |
| 学修内容 | | | | |
| 1. X線撮影の基礎(村中) デジタル化の意義およびX線画像の成り立ちについて学修する。X線撮影に必要な体位、方向、基準線、基準面について学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 2. X線撮影技術学 頭部・頸部(衛藤) 頭蓋骨、顔面骨、咽頭、歯科の各撮影法とX線画像について学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 3. X線撮影技術学 胸部(村中) 胸部の画像解剖と胸部撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 4. X線撮影技術学 腹部(村中) 腹部の画像解剖と腹部撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 5. X線撮影技術学 乳房(村中) 乳房の画像解剖と乳房撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 6. X線撮影技術学 骨盤・股関節(村中) 骨盤・股関節の画像解剖と骨盤・股関節撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 7. X線撮影技術学 脊椎①(衛藤) 頸椎・胸椎の画像解剖と頸椎・胸椎・全脊椎撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 8. X線撮影技術学 脊椎②(衛藤) 腰椎・仙椎・尾椎の画像解剖と腰椎・仙椎・尾椎撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義の復習と、講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 | 放射線撮影学1 (Basic Radiation Imaging) | 授業コード | S003351 |
|--|------|-----------------------------------|-------|---------|
| | 担当教員 | 村中 博幸、衛藤 路弘 | | |
| 学修内容 | | | | |
| 9. X線撮影技術学 上肢①(衛藤) 肩関節・肩甲骨・上腕骨の画像解剖と肩関節・肩甲骨・上腕骨撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 10. X線撮影技術学 上肢②(衛藤) 肘関節・手関節・舟状骨・手指の画像解剖と肘関節・手関節・舟状骨・手指撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 11. X線撮影技術学 下肢①(衛藤) 大腿骨・膝関節の画像解剖と大腿骨・膝関節、両下肢撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 12. X線撮影技術学 下肢②(衛藤) 下腿骨・足関節・踵骨・足部の画像解剖と下腿骨・足関節・踵骨・足部撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 13. X線撮影技術学 小児撮影(村中) 一般的な小児撮影の画像解剖と各撮影法と画像のチェックポイントについて学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 14. X線撮影技術学 特殊撮影①(村中) 病室・手術室、撮影救急(外傷)撮影の注意点について学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 15. X線撮影技術学 特殊撮影②(村中) 断層撮影、骨密度検査の注意点について学修する。 | | | | |
| | 予習 | 講義内容の予習 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義内容のまとめと知識の整理 | | 約2時間 |
| 16. 期末試験 | | | | |
| | 予習 | | | |
| | 復習 | | | |